

修学旅行における国際交流学習の一端

—「Why don't you come to Suifu?」郷土紹介のガイドブックを携えて—

水府村立水府中学校

教諭

古内

勝紀

教諭

棚井

義広

はじめに

テーマ設定の理由

- 1 本校の教育目標とのかかわりから
- 2 教科とのかかわりから
- 3 総合的な学習の時間とのかかわりから
- 4 修学旅行とのかかわりから

修学旅行までの取り組み

- 1 学習内容
- 2 京都・奈良についての調べ学習
- 3 修学旅行の課題の設定
- 4 修学旅行実行委員会の編成
- 5 ガイドブック作り
- 6 コミュニケーションの練習
- 7 コミュニケーション体験の位置付け
- 8 班別行動の移動の方法

修学旅行の実際（コミュニケーション体験の実際）

- 1 実践例 1 京都駅での体験
- 2 実践例 2 班別行動でのコミュニケーション体験
- 3 生徒の感想

修学旅行後の実践

- 1 お礼のEメール
- 2 相手の方からの返事のEメール

まとめと今後の課題

- 1 まとめ
- 2 今後の課題

はじめに

本校は、茨城県北部の山間部に位置する水府村にあり、3つの小学校の学区を抱えている。水府村は、今年の12月には常陸太田市、金砂郷町、里美村との合併が決まっている。そばや果樹などの栽培が盛んであり、関東一長い歩行者専用の吊り橋「竜神大吊り橋」で有名である。また、平成15年3月には72年に一度の水府村から日立の海岸までの「金砂大祭礼」が行われ、テレビや新聞でも大きく取り上げられた。今年度の生徒数は206人、学級数が7であるが、年々生徒数が減少している。英語の学習では、ALTに積極的に話しかけるなど、コミュニケーション活動に関心を持っている生徒も多い。8月には、中学生海外派遣事業として15人が中国への留学を体験するなど積極的に国際交流を進めている。英語学習や海外派遣の成果については、10月の文化祭で全校生徒及び地域の方に公開する予定である。総合的な学習の時間の取り組みについても同様に12月に公開する予定である。

テーマ設定の理由

1 本校の教育目標とのかかわりから

本校の教育目標は「明るく 心豊かで 自ら学ぶ たくましい生徒を育成する」である。この目標のもと一人一人の力を伸ばす創意と活力のある学校づくり（生徒一人一人のパワーアップ）を重点に取り組んでいる。一人一人の力とは、基礎・基本と考える力豊かな心 健康・体力ととらえ、総合的な学習の時間をはじめ問題解決的な学習を積極的に展開して自ら学ぶ力を育成するとともに将来の生き方に夢がもてるような学習を工夫している。

2 教科とのかかわりから

『「英語が使える日本人」の育成のための行動計画』は、英語により日常的な会話や簡単な情報の交換ができるような基礎的・実践的なコミュニケーション能力を身に付けるようにすることや、国際理解教育を推進することで英語学習へのモチベーションの向上を推進する必要性について述べている。本校の英語の授業でも、ALTとのT・Tや英会話を積極的に取り入れ、英語による一人一人のコミュニケーション能力のパワーアップにも重点的に取り組んでいる。

3 総合的な学習の時間とのかかわりから

本校の総合的な学習の時間の学年のテーマは、

1 学年が「見つめよう自分、見つめよう地域」

2 学年が「夢に向かって」

3 学年が「国際理解、ディスカバー ジャパン」

である。自分を見つめて地域を見つめ国際理解を図るという学習の構成になっている。そこで、1学年で学習した内容と3学年での学習内容との関連を図るために、1学年で調べた地域の特色を紹介する英文のパンフレットを作成して外国の方に水府村を紹介するという手法をとることにした。

また、自分の興味や関心に基づいた課題を設定し、課題解決のための追究活動を計画することも今後の活動を支える大きな要素となると考え、各グループに学習課題を設定させるようにしたい。

総合的な学習のテーマ

1 年 「見つめよう自分，見つめよう地域」

- ・自分自身をさまざまな視点から見つめることにより，自己理解を深め，自らの生き方について考える態度を養う。
- ・自分と地域の関わりを考え，地域について自ら課題を見付け，主体的に学習することにより問題解決能力を育てる。
- ・さまざまな探究活動を通して学び方の基本を身に付けることができる。

2 年 「夢に向かって」

- ・身近な人の職業やさまざまな職業を調べることや，客観的に自己理解をすることによって，自らの将来の職業や生き方について考える態度を養う。
- ・さまざまな職業で働く人の生き方や考え方を知り，自己の将来について考えながら，職業についての適切な課題を見付け，主体的に活動することにより問題解決能力を育てる。
- ・調査，追究，まとめ，話し合いなどの学習活動を通して，情報の収集力や調査力，まとめる力，発表する力，コミュニケーション能力などの育成を図る。

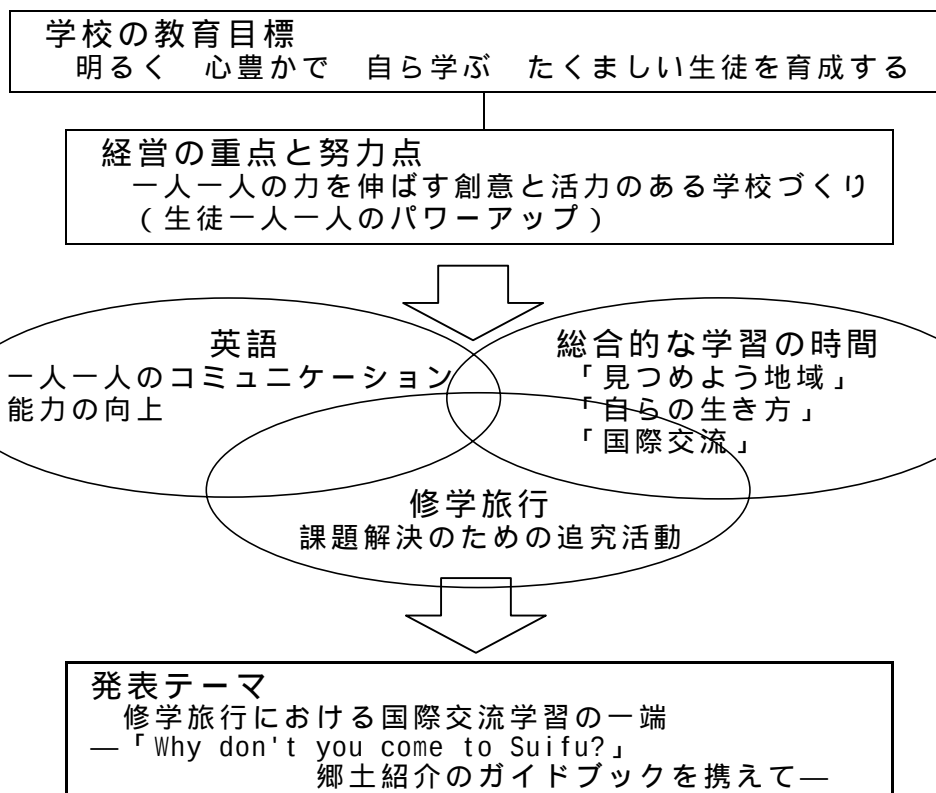
3 年 「ディスカバー ジャパン」

- ・国際化の進展やボーダーレス社会となる 21 世紀を生きる生徒にとって大切な国際理解を，修学旅行のさまざまな体験を通して深める。
- ・異文化理解や国際交流，国際ボランティアなどの国際理解のためのさまざまな方法について自ら考え，実践しようとする態度を養う。
- ・国際理解（異文化理解）を進める上での基礎となる，我が国の伝統的な文化や社会，習慣について知り，それらを尊重し守り育てようとする態度を養う。
- ・修学旅行中のさまざまな見聞や体験から自分の興味や関心に基づいた課題を設定し，課題解決のための追究活動を計画し，進んで取り組むことができる。

4 修学旅行とのかかわりから

以上の点に留意しながら，総合的な学習の時間と関連を図った修学旅行ではどのような活動ができ，どのような効果が期待できるかを考えてみた。まず，一人一人の生徒の基礎・基本と考える力 豊かな心 健康・体力のパワーを高めるためには，目的意識を持たせることが大事である。修学旅行でコミュニケーション能力の育成を図ろうとするとき，自分で伝えたい内容を持たなければ，学習のモチベーションは高まらない。英会話のための英会話になってしまう。自分が対象とする相手に伝えたい身近な内容を持つことで意欲をもって英会話に取り組めるのではないかと考えた。そこで，水府村の良さを紹介して，外国の方に水府村に来てもらおう，Eメールアドレスを教えてもらって今後も交流を続けていこうという目的を持って今後の学習を展開できるよう各グループにアドバイスするようにした。

以上のことから，1 学年の総合的な学習の時間で調べてきた地域の特色を教材とし，外国の方に紹介する活動を通して英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることで一人一人の力を伸ばしていきたいと考えて本主題を設定した。



修学旅行までの取り組み

1 学習内容

	月日(曜)	学習内容	時間
事前学習	1月 9日(金)	ガイダンス	2
	1月16日(金)	見学地の調べ学習	2
	1月23日(金)	見学地の調べ学習, 課題の設定	2
	1月30日(金)	第1回実行委員会(組織作り, 今後の見通し)	1
	2月 6日(金)	第2回実行委員会(水府村ガイドブック作り)	2
	2月20日(金)	第3回実行委員会(水府村ガイドブック作り)	2
	3月 6日(金)	第4回実行委員会(見学地, 見学グループ)	1
	3月13日(金)	見学コース作り(旅行会社の方のアドバイス)	2
	4月16日(金)	班別研修について	2
	4月20日(火)	第5回実行委員会(班別研修のグループ)	2
	4月22日(木)	第6回実行委員会(部屋割り)	2
	4月23日(金)	グループ作り	1
	4月30日(金)	班別研修のコース決定	1
	5月 7日(金)	部屋割り, 日程の確認	2
	5月14日(金)	インタビューのしかたについての事前指導	2
	5月21日(金)	インタビュー練習	1
修学旅行	5月25日(火)	奈良方面の見学	4
	5月26日(水)	班別研修, 国際交流	8
	5月27日(木)	京都方面の見学	4
事後学習	5月28日(金)	資料の整理	2
	6月 4日(金)	見学のまとめ	2
	6月11日(金)	Eメールの原稿作成	2
	6月25日(金)	Eメール送信	2
	7月 9日(金)	Eメール再送信	2
	9月17日(金)	Eメール再々送信	2

網掛けの部分は総合的な学習に関する内容

囲みの部分は英語の学習に関する内容

その他は, 修学旅行に関する内容

2 京都・奈良についての調べ学習

ガイダンスの後、インターネット、図書を使っての京都や奈良の歴史や建造物について調べた。自分たちが興味のあるところを調べることで今後の班別の計画を立てる際の基礎資料とした。また、見学したいところを地図上にプロットして、どこにあるのかを確認することでコースを作る際の参考にするようにした。特に、コースを作る際に役立ったのは、京都のタクシー会社で配布していたパソコンソフトで、見学地を入力するとコース順や必要な時間などが表示され、効率的に作業を進めることができたことにつながった。

3 修学旅行の課題の設定

見学場所がある程度決まったら、本校の総合的な学習の時間の学習の構成をもとに、グループごとに修学旅行の課題を考えた。

総合的な学習の時間の学習の構成

自分を知る→地域を知る→日本の文化を知る→他の国を知る→国際交流

各グループ、日本の文化を知る、国際交流の2つの課題を設定するようにしたが、2つの課題はつながりがあることを意識させるようにした。ここで課題を考えさせたことで後の調べ学習やガイドブックの作成、コミュニケーションの練習などに目的意識が持てたようである。また、国際交流の際に、自分たちはコミュニケーションのどこに重点を置くのかというスタンスがグループごとにはっきりしてきた。

班	学 習 課 題
1 班	○ 古都ならではの歴史のある建造物について、その特徴を調べ日本の文化を知る。 ○ 積極的に外国の方に話しかけ、水府村や日本のことを紹介するとともに他国の文化についても知る。
2 班	○ 京都の歴史的な建造物を見学し、京都の文化やその時代の背景について知る。 ○ 多くの外国の方と積極的に会話して、名前・出身国を地図に記入して、後での交流に役立てるようにする。
3 班	○ 古都の歴史や文化に触れることで、自分の国を見つめ直し、伝統への理解を深める。 ○ 外国の方に積極的に話しかけ、ガイドブックを利用して、水府村の良さを伝えながら、外国の方との交流を深める。
4 班	○ 日本古来の建造物を見学したり、地元の人から伝統的な文化や習慣を聞いたりすることで日本についての理解を深める。 ○ 外国の方との会話をはじめとして修学旅行後も交流できるようにする。
5 班	○ 京都の歴史的な建造物を見学し、京都の文化やその時代の背景について知る。 ○ 多くの外国の方と接して、水府村を紹介することで国際交流を深める。
6 班	○ 古都の歴史や文化に触れることで、自分の国を見つめ直し、伝統への理解を深める。 ○ 多くの外国の方と積極的に会話して、名前・出身国を地図に記入して、後での交流に役立てるようにする。
7 班	○ 京都や奈良の歴史や文化を知ることによって、日本についての理解を深める。 ○ たくさんの外国の方と積極的にふれ合い他国から見た日本文化を知る。
8 班	○ 日本の歴史や文化を知ることによって日本についての理解を深める。 ○ 外国の方に積極的に話しかけ、ガイドブックを利用して、水府村の良さを伝えながら、外国の方との交流を深める。

4 修学旅行実行委員会の編成

実行委員は各クラスより男女2名ずつを選出し、合計8名とした。その中から委員長と副委員長を選び、水府村紹介のガイドブック作りを分担した。その他、各クラスの見学場所、体験活動のグループの作り方、部屋ごとのグループの作り方などについて話し合った。話し合いが最も活発だったのは、体験学習のグループをどうするかということであった。教師側は、今までの生徒の様子を見てみると、外国の方に英語で水府村を紹介するためには、男女別のグループがよいのではないかと考えていたが、男女混合のグループを認めてほしいということで、自分たちなりに意見を集約していった。

5 ガイドブック作り（資料 ）

まず、1学年の時の総合的な学習の時間のまとめの資料をもとに、水府村の特色を出し合った。最終的に、

「水府中学校」

Suifu Junior High School is our school.

It is located in the northern part of Ibaraki prefecture, which is near Tokyo.

There are a lot of beautiful flowers and trees around our school.

「竜神峡」

Ryujin-kyo is a section of the Yamada River.

It's very beautiful and is known as one of the most scenic places in Ibaraki.

「竜神大吊り橋」

This bridge is located in Ryujin valley.

It is one of the longest pedestrian suspension bridges in Japan.

「金砂大祭礼」

This festival began in 851AD (Japanese Heian Era).

It takes place in March, once every 72 years.

The most recent Daisairei was held in March 2003.

「そば」

This noodle is made of buckwheat.

It is one of many Japanese healthy foods.

You can eat it with hot or cold vegetable and/or meat soup.

「凍みこんにゃく」

Konnyaku is another Japanese healthy food.

It is a stiff jelly made from special Japanese "konnyaku" potatoes.

の6項目についてのガイドブックを作ることになった。ガイドブックのタイトルや表紙も話題となり外国の方に水府村について興味を持ってもらうためにはどうしたらよいかということも考えて資料のような表紙と内容になった。マスコットキャラクターは竜神大吊り橋を守る竜として生徒が考えた。

次に、これを英語のガイドブックに訳す作業である。生徒は水府村の特色についてあれも伝えたいこれも伝えたいという思いを持っていた。しかし、それを英文に直すのは難しかった。ガイドブックとして外国の方に伝えようとしても理解してもらうのに苦労するのが目に見えていたからである。そこで、英語教師と本校に勤務するアメリカ出身のALTが、現地の方によりわかりやすい英文に訳してくれた。外国の方に分かりやすい表現にするなど日本語での説明文を書くときの事前の指導も大切であると感じた。



6 コミュニケーションの練習（資料）

ガイドブックができた後は、英会話の練習である。まず、
 ステップ1として、「まずは話しかけてみましょう！！」
 ステップ2として「いろいろな質問をしてみましょう！！」
 ステップ3として「では、自分たちのことを話してみましょう！！」
 ステップ4として「依頼文書を見せながら、ペンパルになってくれるよう頼んでみよう」

ステップ5として、「写真を一緒にとってもらおう！！」

ステップ6として「お礼を言いましょう」

という段階を踏むようにした。各グループごとに練習をした後、外国の方の役を演じている学年の教師に話しかけて受け答えをした。ステップ2で断られるパターン、ステップ3で断られるパターンなど想定して、断られてもありがとうというお礼の言葉を忘れないようにと指導をした。旅の貴重な時間を割いて応対してくれるのだということも理解してほしかった。

How to interview

Step 1 まずは話しかけてみましょう！



Excuse me.

I'm I'm We are junior high school students from Ibaraki, near Tokyo.
 We came to Kyoto and Nara for a school trip.

(;_;) |

Sorry, I'm busy.

O.K. Have a nice trip. / O.K. Anyway, thank you.

May I ask you some questions?

(^o^) O.K. / Sure.

Step 2 いろいろな質問をしてみましょう！！

What's your name?

Where are you from?

When did you come to Japan?

自分で質問を考えておくと Goodだよ！

Did you eat YATSUHASHI ?

Yes, I did.

I like it very much.

Oh, I see.

YASTUHASHI is good.

I like YATSUHASHI.

No, I didn't.

I don't like sweets.

Oh, I see.

I'm sorry to hear that.

It's very delicious.

No, I didn't.

What's that?

YATSUHASHI is a Japanese sweet.

It's like crepes.

Please try it.

など

また，外国の方に失礼がないように本校の A L T に依頼文を書いてもらった。



コミュニケーションの練習風景

7 コミュニケーション体験の位置付け

班別行動の日程の中で外国の方がたくさん訪れる場所について，旅行会社の方からアドバイスをもらった。そして，各グループごとの見学場所に，英会話をする時間を見学時間以外に設定した。金閣寺，二条城，平安神宮などいくつかの候補があがったが，コースの設定が課題解決のために大切になると考え，教師の方で割り振ってできるだけ同じ時間帯に 2 つ以上のグループが重ならないようにした。

下の表が，各グループの見学場所と英会話の時間を設定した表である。

太字でアンダーラインのところが英会話を位置付けた場所

班	見 学 場 所
1 班	宿舍発 → 平安神宮 → 白峯神宮 → 北野天満宮 → <u>金閣寺</u> → 竜安寺 → 嵐山 → 西本願寺 東本願寺 → 京都タワー → 二条城 → 新京極 → 宿舎着 9:20
2 班	宿舍発 → <u>平安神宮</u> → 白峯神社 → 北野天満宮 → 金閣寺 → 竜安寺 → 妙心寺 → 二条城 → 安井金比羅宮 → 新京極 → 宿舎着 8:45
3 班	宿舍発 → 晴明神社 → 金閣寺 → 北野天満宮 → <u>二条城</u> → 東本願寺 → 国立博物館 → 梅香堂 → 新京極 → 宿舎着 10:30
5 班	宿舍発 → 平安神宮 → 北野天満宮 → 金閣寺 → 竜安寺 → 天竜寺 → <u>嵐山</u> → 西本願寺 → 東本願寺 → 京都タワー → 二条城 → 新京極 → 宿舎着 11:40
11 班	宿舍発 → 北野天満宮 → 金閣寺 → <u>竜安寺</u> → 嵐山，野宮神社 → 八つ橋作り体験 → 二条城 → 新京極 → 宿舎着 9:55

8 班別行動の移動の方法

各グループのコースを効率的に回り，外国の方と英会話をする場所のついでにの助言をもらうために移動はタクシーとした。旅行会社の方にも事前にタクシーの会社に趣旨を伝え協力していただけることになった。さらに，外国の方はどこに多く訪れるのか，ここでは出口付近で待っていた方がよいとか，胸にツアーの印を付けている方は時間に制約があるので難しいなど具体的にそして適切なアドバイスがあった。

修学旅行の実際（コミュニケーション体験）

実践例 1 京都駅での体験

東京駅から京都駅までの新幹線の車内，英会話シートとガイドブックをもとに英会話の練習をした。新幹線の車内での英会話の練習は，生徒にとっては興味を持てるだろうかと思っていたが，一人で，二人組でと積極的に練習をする姿が見られた。家で何回も練習をしてきたとか，英会話の参考書を持ってきて練習しているとか，今まで，英語に苦手意識を持っていた生徒も一生懸命に練習している姿を見てうれしくなったのを覚えている。

京都駅では，外国の方がホームで新幹線を待っていたのでさっそく英語で話しかけるよう促した。しかし，はずかしいのと自信がないのとでなかなか口火を切ることができなかった。そこで，教師が，話すきっかけをつくり，生徒につないだところ会話がつながった。2～3人の生徒が話していたが，じっと見守っている生徒が多かった。自己紹介もできたし，どのくらいの期間滞在しているのかを聞くことができた。新幹線がホームに入ってくるとその方は新幹線の車内へと消えていったが，生徒たちは大喜びであった。英語が通じたからである。今まで学校のALTと会話をしたことがあっても知らない外国の方と話すのは初めてだったにもかかわらず，やればできるんだと多くの生徒が自信をもったようである。さらに，自分も他の外国の方とも話をしてみたいという感想も持つことができた。



車内での練習風景



ホームでの会話の様子

生徒の感想

- ・ 英語が通じた。
- ・ 英語って楽しい。
- ・ 他の方とも話をしてみたい。



実践例 2 班別行動でのコミュニケーション体験

【金閣寺】

ここは，外国の方が多く訪れるので一番最初に英会話ができると考えていた。案の定，二人の生徒が，金閣寺の写真を撮っている外国の方と英会話をすることができた。さらに，出口近くでは，たくさんの外国の方を見かけたが，なかなかタイミングをつかめないでいる生徒もいた。ツアーで来ている方は時間に制約があるためなかなか対応してもらえないと考え，できるだけご夫婦で来日している方に話しかけようと苦労していた。

友達が話をしたのを見ていて、「自分だってできるぞ」「話しかけてみよう」という生徒がたくさん出てきた。スムーズに話ができたとを見て安心したようである。自己紹介から始まって、ガイドブックでの水府村の紹介、そして、Eメールアドレスはなかなか教えてはもらえないだろうと思っていたが、OKという方が多かった。水府村紹介のガイドブックは会話をした方にプレゼントしたところ多くの方が喜んで受け取ってくれた。出発前本校のALTから「是非プレゼントしてください、喜ぶますから。」とアドバイスを受けていたがその通りであった。

ALTから、「Eメールアドレスはなかなか教えてもらえないんじゃないかな」という話も聞いていたので、2～3のアドレスをもらえればよいと考えていたのだが、合計26通のアドレスを得ることができたのは生徒にとっても喜びであったし、我々には驚きでもあった。これもガイドブックがあったからだろうかと思った。



金閣寺でのコミュニケーションの様子



金閣寺での水府村紹介の様子

生徒の感想

- ・次の金閣寺に向かうタクシーの中で、英語の練習をした。だんだん緊張し始めてきた。金閣寺に着いてみると目の前に外国の方がいたのでがんばって話しかけてみた。すごく緊張した。その人は、優しく色々なことを説明してくれたので緊張がほぐれた。自分が話した英語が通じたので本当にうれしかった。少しだけど、自信がついた。また、話ができたらいいなと思った。会話が終わって金閣寺を見た。本当にきれいだなと思った。金閣寺に行ってよかったなと思った。

【二条城】

ここでは、同年代の外国の方と英会話ができた。同年代ということで気軽に話しかけることができたようである。やはりアドレスを教えてもらうことができ、生徒は満足していた。英会話をした方には一緒に写真に入ってもらうようにした。後で、返事を書くときに写真も一緒に送ることで交流が続くことを期待したからである。また、生徒も一緒に写真に写ることで、交流の成果が実感できたようである。

各グループごとに使い切りカメラを1台ずつ持たせて、自分たちの英会話の様子などを撮るように指示した。撮った写真は、その日に京都市内の写真屋にプリントをお願いして、帰ってすぐにまとめて使えるように配慮した。会話をするだけでなく、一緒に写真に写るのは、生徒にとって、初対面の方でもより親近感を持たせる効果があったようである。帰ってきてから、写真を見ながら、自分が外国の方と一緒に写っている写真を大事にしたいという気持ちを感じ取れた。

3 生徒の感想

- 緊張しながらも話しかけてみると、アメリカの方でした。アメリカの方はとても明るく話しやすい人でした。「水府村」のことを説明すると、とても興味深そうにうなずいていました。その後、Eメールアドレスを書いてもらいました。やっと肩の荷がおりたような気がしました。



銀閣寺での水府村紹介の様子

- 初めは、緊張してしまい、なかなか話しかけるタイミングをつかめずにいました。話しかけてみると、英語は分からない、時間がないなど断られてしまうこともありました。でも、あきらめず話しかけていたら、メールアドレスを教えてもらうことができました。話しているときは、なるべく相手の顔を見て話そうと心がけたり、聞き取りやすい英語を話そうとしたりしました。完璧にはできませんでしたが、自分なりによくできたと思います。とても楽しく会話ができて、英語の文を何回も練習して本当によかったなぁと思いました。



平安神宮での水府村紹介の様子

- 練習の時できていたから大丈夫だろうという気持ちで臨み、いざ外国の方の前に立ってみたら、手と声は震えてうまく話せず緊張してしまいました。なんとか話ができ、Eメールアドレスをもらうことができて本当にうれしかったです。

- いつもはキャラ先生しかしゃべったことがないので「私の英語は通じるかな。」と思いつつ外国の方に話しかけました。最初は緊張してたけど、外国の方たちは優しく聞いてくれて最後はEメールアドレスまでもらって本当にうれしかったです。



竜安寺でアドレスを教えてもらっているところ

- 私の英語が通じなくてショックだったからもうちょっと英語をがんばろうと思いました。外国の方との交流はとても恥ずかしく、なかなか話しかけられませんでした。やっと話しかけても一人目はツアーの人で話せませんでした。二人目の人はとても優しい人で、快く引き受けてくれてとてもうれしかったです。外国の方との会話は、ALTの先生以外はしたことがなかったのでとても緊張しました。



金閣寺でのコミュニケーションの様子

- 水府村紹介のガイドブックを示しながら話すことで自信が持てました。水府村の良さを自分でも知りました。

修学旅行後の実践

1 お礼の E メール

【手順】

教えてもらったメールアドレスの確認
インターネットを使ってメールアドレスの取得
英文の雛形を見ながら英文を入力
写真の貼付
内容の確認
メールの送付
相手からの返事の E メール
メールの再送付
継続



アドレスを確認しているところ

アドレスをもらった 26 人の方にはさっそく返事を書いた。最初から英文を書くのは難しいので、教師が返事の雛形を示し、必要な所を変えて書くように指示した。英語が得意な生徒は最初から自分の力で書こうとしていたが、苦手な生徒にとっては雛形があったためにスムーズに作業を進めることができた。

メールはヤフーメールを利用した。無料であるし、個人ごとにアドレスをとることで学校だけでなく家のパソコンでも見られるようにしたかったからである。そうすることで、興味がある生徒は家で返事を受け取ったりさらに返事を書いたりすることができた。しかし、相手がヤフーに加入していなければ、送信できないので、その場合には学校のアドレスを使って再送信するなどの工夫も必要である。アドレスとパスワードは申告させて、随時教師がチェックできるようにした。また、総合的な学習の時間を利用して今後もメールの交換をしていく予定である。

英文には必ず一緒に撮った写真を添付するようにした。写真をスキャナーで取り込み j p g 形式で保存すると簡単に送信することができた。

Let's write an e-mail!!

Step 1 あて名

目上の人に、初めてのお便り…。ていねいに「親愛なる（ラストネーム）さん」

→→→ Dear ()

ファミリーネーム、氏名の「氏」の部分

Step 2 まずはあいさつ

「こんにちは。お元気ですか。」→→→ Hello. How are you?

Step 3 突然のメールでは、誰からかわからないかも…。きちんと名のこと。京都でのお礼を述べ、思い出してもらえるようにしましょう。感想なども加えるとさらに good!!

「私たちは（自分たちの名前）です。」→→→ We are ().

ファーストネーム、氏名の「名」がいいですね。親しみをもってもらえるのでは

「京都の（場所）で私たちとお話してくださり、ありがとうございました。」

→→→ Thank you for talking with us at () in Kyoto.

「お話できてとても楽しかったです。」→→→ We had a great time. We enjoyed it very much. など

「英語を話すことは難しかったけど、あなたとお話できてとても楽しかったです。」

→→→ It was so difficult for us to speak English but we were very happy to talk with you.

「とてもドキドキしたけど、あなたとお話できて本当にうれしかったです。」

→→→ We were very nervous to talk in English but so glad to have conversation with you.



《お礼の E メール》

Date: Fri, 25 Jun 2004

Dear Ms.Weiss

Hello. How are you?

I'm Tomomi. Thank you for talking with us at Ryoanji Temple in Kyoto.

I enjoyed it very much. I worried that our English couldn't be understood but you understood it.

I was very happy. I practiced speaking English many times with my English teachers at the junior high school.

How was Kyoto? Was Japan interesting? When did you return to your country?

I had a great time in Kyoto. My favorite temple was Kinkaku-ji. It was shining in the sun, and it was very beautiful. I sent a photo of us in an attachment. I hope you like it.

I'm so happy to write you. Thank you very much. I'm looking forward to hearing from you!

Sincerely yours,

Tomomi Sekine

Suifu J.H.S, Japan



Eメールを入力しているところ

2 相手の方からの返事の E メール

1 週間もすると 5 つのところから返事が届いた。26 通のうち送信できないとメッセージが届いたのが 10 通, 送信できたけれど返事が来ないのが 11 通であった。家のパソコンで見た生徒もいたが, 返事が届いていた生徒は大喜びであった。4 通は英文が通じたのだが, 1 通はイタリアの方で英文がわかりませんというメッセージであった。さっそく, 3 人に再び返事を書いた。

9 月に改めて確認したところ, 新たに 3 人の方からのメールが届いた他, 2 人の方とは継続してメールの交流ができた。現在も交流が続いているので, その都度 A L T に助言をもらいながら, メールを書いている。

《相手からの返事の E メール》

Servus Tomomi, (Servus is "Hello" in "Viennese")

I am very happy about your e-mail. Your English is very good and very easy to understand; it is obvious you practice a lot.

Austrian schools are closed in July and August (Summer-holidays), is it the same in Japan?

Japan is a nice country; my favorite city is Yokohama, because the old part and the new part are an interesting contrast.

Kyoto's tempels are impressive, but after visiting so many of them, they blurred into each other.

Austria doesn't have temples, but it has impressive churches from the middle-ages instead.

I didn't get your picture, can you send it again please? Would you like to rceive pictures from Vienna or Austria? Have a nice day, I hope to hear from you soon

Waltraud Weiss

まとめと今後の課題

1 まとめ

英語

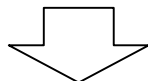
- これまでALT以外の外国の方とはあまり接する経験がなかったが、外国の方とコミュニケーションをすることの楽しさを感じたようである。やればできるという成就感も今後のコミュニケーションの意欲付けになった。
- Eメールの交換は、文章によって自分を表現しようという気持ちを高めることができた。相手を意識した学習は今まで以上に生徒のやる気を高めることができた。
- 水府村を紹介するという目的意識を持って取り組んだためか、英会話の練習が意欲的にできた。また、Eメールアドレスを教えてもらうという目的もやる気を高めるのに役立った。
- 生徒の感想にもあるように英語学習の魅力や楽しさがわかってきた。外国の方との交流をするためにもっと勉強しよう、会話がうまくできなかったからもっと勉強しようなど今後の英語学習の指針となった。
- 外国の方との交流の方法をステップ1～6までのステップアップ方式にすることで、生徒はここまでできたら今度はステップアップだなどと意欲的に英会話の練習に取り組んでいた。

修学旅行

- 班別研修のグループを学年オープンの男女混合のグループにしたことで学年のまとまりが高まってきたように感じる。
- 修学旅行実行委員会の話し合い活動を通して自主的・自治的活動への意欲が高まってきた。

総合的な学習の時間

- 水府村紹介のガイドブックを作る作業を通して1年生の総合的な学習との関連を図るとともに、改めて水府村の良さに気づくことができた。12月には常陸太田市と合併が決まっているので、水府村を紹介して水府村の良さを知ってもらおうという気持ちも持つことができた。
- 総合的な学習の時間を英語の時間の発展として扱うことで指導時間に余裕が持てた。
- 英語教員との協力で英語と総合的な学習との連携を図り、展開することができた。また、学年の教師のT・Tにより2クラスを4人でみる少人数指導を効率的に進めることができた。
- インターネットを使った調べ学習を通して課題解決学習などの学び方が身に付いてきた。
- 今後も総合的な学習の時間と英語との連携を図りながらコミュニケーション活動ができた。



一人一人の力を伸ばす創意と活力のある学校づくり
(生徒一人一人のパワーアップ)

- ・ 一人一人のコミュニケーション能力の向上
- ・ 問題解決能力の向上

2 今後の課題

- Eメール交換を続けたい生徒への継続的な支援をしたり，他の生徒へ，その内容を紹介したりすることで国際交流への関心を持ち続けられるようにしたい。
- 英語の学習で身に付けた力を総合的な学習で生かすことができたが，総合的な学習の時間で学んだ手法を英語で役立てる場を用意しておくことで，より関連を図った指導ができるのではないだろうか。
- インターネットを使う際の個人情報の扱い方については指導をしたが，その都度，写真やアドレスなどの扱い方について指導していくべきである。
- 国際交流への意欲と関心が持続できるような具体的な支援を考えていきたい。

資料

郷土紹介のガイドブック

Why don't you
come to Suifu?



Suifu Junior High School
3rd grade

E-mail: suifu@educet.plala.or.jp

水府中学校

Suifu Junior High School

Suifu Junior High School is our school.

It is located in the northern part of Ibaraki prefecture, which is near Tokyo.

There are a lot of beautiful flowers and trees around our school.

It was established in 1967. We have 206 students and 20 teachers.

It is a small but traditional, good school. All the students are cheerful and friendly.

* Kanto region *



* Ibaraki prefecture *



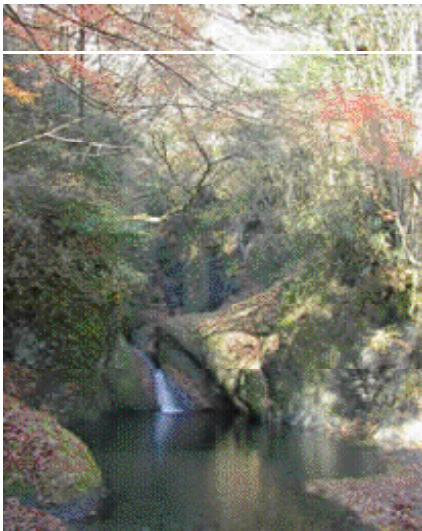
There are 10 after school clubs at our school: baseball, soccer, volleyball, basketball, table tennis, kendo, fine arts and brass band. We enjoy our activities very much.

* Suifu Junior High School *



Nature

竜神峡 Ryujin-kyo (Dragon God's Valley)



Ryujin-kyo is a section of the Yamada River. It's very beautiful and is known as one of the most scenic places in Ibaraki.

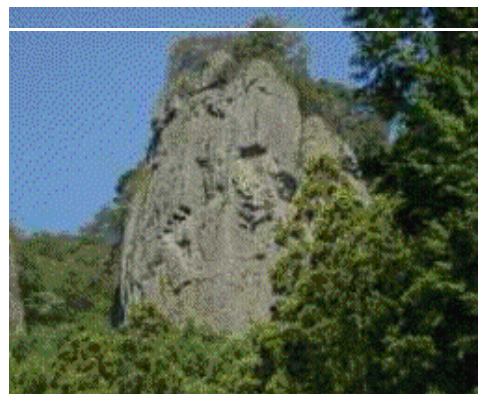
When we look at a panoramic view of the valley, we can see many colors, like a rainbow, on its surface.

男体山 (Mt. Nantai)

It's 654 meters high and sometimes called "Mt. Hanakake (Mt. No nose)".

The view from the top of the mountain is really wonderful.

Ryujin-kyo and Mt. Nantai are parts of a prefectural park. This park has a nice hiking course, and recently many people have come to Suifu for scenic hiking.



Notable Place

竜神大吊り橋 —Ryujin Big Suspension Bridge—

This bridge is located in Ryujin valley. It is one of the longest pedestrian suspension bridges in Japan. It is 100 meters high and 375 meters long. Many festivals are held here throughout the year.



In spring, we have the Koinobori (carp windsock) festival. We can see many koinobori strung across Ryujin valley. At this time, we can also see beautiful flowers and fresh green trees.

In August, the summer festival is held. There are many Toro (Japanese lanterns), made by local children, on the bridge. This view at night is so fantastic.



In fall, leaves of the trees change colors to yellow, red, purple, and brown. Many people come to our village to see this array of color on the mountains.

Please come to Suifu to see these sights with your own eyes.

Big festival

「東・西金砂神社 いそでだいさいれい 磯出大祭礼」

—Daisairei—

This festival began in 851AD (Japanese Heian Era).
It takes place in March, once every 72 years.
The most recent Daisairei was held in March 2003.

This festival honors the gods of the East and the West Kanasa shrines. **Participants and spectators pray for** abundant harvest, peace (throughout this region, and around the world), **and** a rich life. Daisairei is recognized as a National Folk Art Treasure.

Participants wear traditional clothes and perform a variety of duties. Some carry swords and the walk with the parade as samurai. Others are nobility, Japanese flute/drum players, priests, or local leaders. The parade marches 72km over two weeks, from the two local shrines to the ocean and back again.



Samurai from the parade Mikoshi

The final of the parade is the “mikoshi” (portable shrine) which is the carriage of the god. It is very heavy and is carried by approximately 20 people who shout and cheer as they walk.

Special Products

常陸秋そば

— Soba —



Buckwheat farm

This noodle is made of buckwheat. It is one of many Japanese healthy foods. You can eat it with hot or cold vegetable and/or meat soup.

In Suifu, the farmers grow rice and buckwheat. The weather and the land are good for growing these crops. Buckwheat flowers bloom in the middle of September in Suifu. This scene is beautiful and reminds people of country home and lifestyle.



Soba



Soba products

Local Special Products

凍みこんにゃく —*Shimi-konnyaku*—

Konnyaku is another Japanese healthy food. It is a stiff jelly made from special Japanese “konnyaku” potatoes. It has no calories and it cleans the intestinal tract.

Shimi-konnyaku is dried konnyaku. Traditionally konnyaku was dried by a repeated process of freezing and thawing. Shimi-konnyaku can be eaten with pickled vegetables, in soups, or deep fried. It can also be used as a facial pack or gentle facial washing sponge.

The art of making shimi-konnyaku is fast disappearing. Currently it is made only in Suifu and one other town nearby.

Shimi-Konnyaku Products



資料

コミュニケーション体験のために

「依頼文」

《依頼文》

English Assignment

Kyoto and Nara School Trip

Dear Sir and Madam,

Thank you for taking the time to talk with my students! As you know, the student(s) who handed this to you are from Suifu Junior High School in Ibaraki prefecture, Japan.

The third year students are in Kyoto and Nara on a school trip. In order to learn more about international communication my students are looking for pen pals from other countries.

If you would like to continue today's conversation in an e-mail friendship, please write your information below. If you do not wish to participate please say, "I'm sorry.

I can't be your pen pal," to the student(s).

Thank you for your time.

Sincerely,

Kara Blair, Assistant English Teacher

Suifu Junior High School, Ibaraki

Name: _____

Native country: _____

(If you currently reside in Japan, please state what city and/or

_____ prefecture here: (_____)

E-mail address: _____

Comments: _____

「インタビューのしかた」

How to interview



Step 1 まずは話しかけてみましょう！！

Excuse me.

I'm I'm We are junior high school students from Ibaraki, near Tokyo.

We came to Kyoto and Nara for a school trip.

⋮

⋮

(;_;) Sorry, I'm busy.

O.K. Have a nice trip. / O.K. Anyway, thank you.

May I ask you some questions?

(^o^) O.K. / Sure.

Step 2 いろいろな質問をしてみましょう！！

What's your name?



Where are you from?

When did you come to Japan? 自分で質問を考えておくと Goodだよ！

Did you eat YATSUHASHI ?

Yes, I did.

No, I didn't.

No, I didn't.

I like it very much.

I don't like sweets.

What's that?

Oh, I see.

Oh, I see.

YATSUHASHI is a Japanese sweet.

YASTUHASHI is good.

I'm sorry to hear that. It's like crepes.

I like YATSUHASHI.

It's very delicious.

Please try it.

など

(*_*)もし、相手の言っていることがわからないときには...

Pardon? (すみません。もう一度お願いします。)

Say that again, please.(もう一度言ってください。)

Could you speak more slowly?(もう少しゆっくり話していただけますか。)

(*_*)書いてほしいときには...

Could you write it down?(書いていただけませんか。紙とペンを差し出す)

Step 3 では、自分たちのことを話してみましょう！！

Now, may I talk a little about us?

⋮

⋮

(;_;) Sorry, I'm busy.

O.K. Anyway, thank you. Have a nice trip.

(^o^) O.K. / Sure.

パンフレットを見せながら...

- * This is SUIFU junior high school, our school.
- * This is Daisairei, a big festival.
- * This is Ryujin-kyo, beautiful valley in our village. など

パンフレットに合わせて
変えてみてもOKよ！

Step 4 依頼文書を見せながら，ペンパルになってくれるよう頼んでみよう。

Could you read this?

読み終わった頃に...

Could you be our e-mail pen pal, please?



(;_;) Sorry, I can't be your pen pal.

O.K. Anyway, thank you. Have a nice trip.

(^o^) O.K. / Sure.

(^_^)v Thank you very much.

Step 5 写真を一緒にとってもらおう！！

Would you take a picture with us?

(;_;) Sorry, I'm busy.

O.K. Anyway, thank you. We will send you an e-mail

Have a nice trip.

(^o^) O.K. / Sure.

(^_^)v Thank you very much.

シャッターの合図は...

Say cheese!!

Step 6 お礼を言いましょう。

Nice talking with you. We had a good time.

We will send you an e-mail.

Thank you. Have a nice trip.

よく頑張りました。Good job!!



「Eメールの書き方」



Let's write an e-mai!!



Step 1 あて名

目上の人に，初めてのお便り...。ていねいに「親愛なる（ラストネーム）さん」

→→→Dear ()

ファミリーネーム，氏名の「氏」の部分

Step 2 まずはあいさつ

「こんにちは。お元気ですか。」→→→Hello. How are you?

Step 3 突然のメールでは，誰からかわからないかも...。きちんと名のること。

京都でのお礼を述べ，思い出してもらえるようにしましょう。感想なども加
るとさらにgood!!

「私たちは（自分たちの名前）です。」→→→We are ().

ファーストネーム，氏名の「名」がいいですね。親しみをもってもらえるの
では

「京都の（場所）で私たちとお話してくださり，ありがとうございました。」

→→→ Thank you for talking with us at () in Kyoto.

「お話できてとても楽しかったです。」→→→We had a great time.

We enjoyed it very much. など

good / wonderful

「英語を話すことは難しかったけど，あなたとお話できてとても楽しかったで
す。」

→→→It was so difficult for us to speak English but we were very happy
to talk with you.

「とてもドキドキしたけど，あなたとお話できて本当にうれしかったです。」

→→→We were very nervous to talk in English but so glad to have
conversation with you.

「私たちの英語が通じないかも...と不安でしたが，あなたが理解してくれてうれ
しかったです。」

→→→We worried that our English couldn't be understood but you
understood it. We were very happy.

「外国の方と話すのは初めてだったので，何度も練習しました。」

→→→It was the first time for us to talk with the people from
foreign countries so we practiced speaking in English so many times.

...などなど。自分の伝えたいことを書くようにしましょう。

Step 4 京都・日本の感想を聞いてみよう。

「京都はいかがでしたか。日本に興味を持ってくれましたか。」

→→→How was Kyoto? Was Japan interesting?

Step 5 写真を送りましょう。

「京都での写真を添付ファイルで送ります。気に入ってもらえればうれしいで
す。」

→→→We sent a photo of us in an attachment. We hope you like it.

Step 6 もう一度お礼を述べ，またメールのやりとりができるようお願いしましょ う。

「あなたにお便りできて本当にうれしいです。ありがとう。あなたからのお便り
を楽しみにしています。」

→→→ We are so happy to write to you. Thank you very much. We are
looking forward to hearing from you.

Step 7 結びのことばと差出人の名前

ていねいに...。この場合は「敬具」がいいのでは...。→→→Sincerely yours,
() in Suifu J.H.S. in Japan

「Eメール」

《お礼のEメール》

Date: Fri, 25 Jun 2004

Dear Ms.Weiss

Hello. How are you?

I'm Tomomi. Thank you for talking with us at Ryoanji Temple in Kyoto.

I enjoyed it very much.

I worried that our English couldn't be understood but you understood it.

I was very happy. I practiced speaking English many times with my English teachers at the junior high school.

How was Kyoto? Was Japan interesting?

When did you return to your country?

I had a great time in Kyoto. My favorite temple was Kinkaku-ji.

It was shining in the sun, and it was very beautiful.

I sent a photo of us in an attachment. I hope you like it.

I'm so happy to write you. Thank you very much.

I'm looking forward to hearing from you!

Sincerely yours,

Tomomi Sekine

Suifu J.H.S, Japan

《2回目のEメール》

Date: Fri, 9 Jul 2004

Dear Ms. Weiss

Hello! How are you?

Thank you for your e-mail from Vienna. I'm happy to have your message.

In Japan schools have summer-holidays, too. Most of the schools close around the end of July and start on September 1st.

You like Japan! Oh, thank you very much! Where have you been in Yokohama?

I have never been there, but I am interested in China town.

Do you know that? It is a famous place in Japan. I like Chinese food.

There is a lot of Chinese food there. I want to go there.

I'll send the picture again. (I'm sorry if you can't receive it again.)

Could you send Vienna's picture? I really want to see it!

I hope to hear from you soon.

Sincerely yours,

Tomomi Sekine

in Suifu J.H.S, Japan

《相手からの返事のメール》

Servus Tomomi, (Servus is "Hello" in "Viennese")

I am very happy about your e-mail. Your English is very good and very easy to understand; it is obvious you practice a lot.

Austrian schools are closed in July and August (Summer-holidays), is it the same in Japan?

Japan is a nice country; my favorite city is Yokohama, because the old part and the new part are an interesting contrast. Kyoto's tempels are impressive, but after visiting so many of them, they blurred into each other. Austria doesn't have temples, but it has impressive churches from the middle-ages instead.

I didn't get your picture, can you send it again please? Would you like to rceive pictures from Vienna or Austria? Have a nice day, I hope to hear from you soon

Waltraud Weiss

《3回目のEメール》

Date: Fri, 9 Jul 2004

Dear Ms.Weiss

Hello! How are you?

Thank you for your e-mail from Vienna. I'm happy to have your message.

In Japan schools have summer-holidays, too. Most of schools closed in about the end of July. You like Japan! Oh, Thank you very much. Where did you go in Yokohama? My favorite place in Yokohama is "Yokohama-Chinese town."

Do you know that? It is a famous town in Japan. I like Chinese food.

We have a lot of Chinese food there. But I have never been there.

I want to go there.

I'll send the picture agin. (I'm sorry, if I don't send again.)

Could you send Vienna's picture? I really want to see it.

I hope to hear from you soon.

Sincerely yours,

Tomomi Sekine

in Suifu J.H.S, Japan

《4回目のEメール》

Date: Fri, 16 Jul 2004

Dear Ms.Weiss,

Hallo. How are you?

I'm going to write a little about my school life. We have 42 days of summer vacation this year. The summer vacation is coming soon.

I'm very happy. We have no school. I'll study for the entrance exam for high school. I'll come to school for club activities for a few days.

I'm the director of the brass band. I like music.

I want to check your e-mail, but I'm afreid that I can't chack your e-mail so often. I'm sorry if I can't send you an e-mail.

See you.

Sincerely yours,

Tomomi Sekine

in Suifu J.H.S, Japan

《 2 回目の返事の E メール》

Hello Tomomi,

I am very happy about your e-mail. Your e-mail tells me about holidays at Japanese schools, but does not say much about how you plan on spending all this free time. I would be interested to know things like if you go to another country and if you spend time with your class mates or your family.....

You will find a link about vienna

<http://www.wien.gv.at/english/>

I will also send you a travel guide in the mail.

Have a nice day

Waltraud Weiss

《 5 回目の E メール》

Date: Fri, 17 Sep 2004

Dear Ms.Weiss,

Hello, Ms.Weiss. Thank you for your e-mail. I'm really happy to hear from you. And I'm sorry that I couldn't check e-mail while I was on summer vacation. What did you do this summer ? I came to school for my club activity.

On September 11th, we had a sports festival in my school, and our brass band played some music. We did a great job, I think. We practiced so much in summer vacation. I had very good time with my family. I went shopping in Tokyo with my family, and we enjoyed it. And also we went to see the fireworks, at a summer festival. I would like to tell you about them next time.

This is my address, 1554-1 Wagu Suifu-village Kuji-gun 313-0214 Japan

I really appreciate for your kindness. I am really happy to keep in touch with you. See you again. I hope you to hear from you soon. :-)

Sincerely yours,

Tomomi Sekine

in Suifu J.H.S, Japan

Weiss Traude & Peter wrote: